

ろうしん なげ  
老心の歎き — 因果歴然 — 哀しみからの教え — (五版)

どうしてそこまで損なうか  
けっか こ

結果は来ないと言いたいか  
じぶん つく

自分で作れば自分で受ける  
あぐえん まわ

悪縁もたらし周りも感化  
かんか

じさじじゆ  
自作自受

こんじようう ぼちあ  
今生受けるは罰当たり

みずか とうと そこ  
自ら貴さ損なつた

じゆんげんほうじゆ  
順現報受

じしよう う ひつぼつ  
次生に受けるは必罰と

あれが悪しと悔やまれん  
わる く

じゆんじしようじゆ  
順次生受

その後の痛恨極み無し  
ご つうこんきわ な

己の背中が手本なり  
おのれ せなか てほん

じゆんごじじゆ  
順後次受

せつな そうぞくさんじ  
刹那相続三時あり

結果が熟すに間があるも  
けっか じゆく ま

桃栗三年柿八年

その間を知らずに錯るか  
ま し あやま

枇杷は九年でなりかかる

悪の報いは必ず有らん  
あく むく かなら あ

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文